

乾孝 いぬお 心理學者。明治四十四年八月十九日東京生れ、平成六年一月二十七日歿（一九二一九）。筆名いぬお・たけし、乾。辯護士乾政彦の子。昭和十年法政大學哲學科卒。うち同大教授。

著書 『子供と嘘』（合著・教材社編輯部編、昭和十六年十一月）、二十五日教材社『兩親教養書選』（『妻とおとがけ』大衆娯樂の研究九四）（合著・思想の科學研究會編、昭和二十五年七月二十日中央公論社『心とびとの哲學叢書』（『日本は狂つてくる』（編、昭和二十八年四月五日同光社編輯部書房）、『現代人の生態―ある社會的考察』（合著・思想の科學研究會編、昭和二十八年十一月二十日大日本雄辯會講談社『ミシリオン・ブックス』（『言葉の魔術―ことばの研究室』（合著・日本放送協會編、昭和二十年九月二十五日大日本雄弁會講談社『ミシリオン・ブックス』（『社會と芸術』（合著、昭和二十七年十二月十五日河出書房『現代芸術講座』（『義理人情の心理―現代の心理Ⅲ』（編、昭和二十一年五月二十日河出書房『河出新書』（『幼年の文學』（合著・周郷博 與田準一編、昭和二十一年九月二十五日国民図書株式會社『幼年教育のたのしみ』（『ママスコミ時代と芸術（『伝え』の心理学』（『いっぴんの歌―流行歌』（渋谷修共編著、昭和二十五年十一月十五日淡路書房新社）、『ボクの夫婦研究』（いぬお・たけし名、昭和二十六年一月十五日講談社『ミシリオン・ブックス』（『思ひ出の本』（合



